

目 次

- はじめに 1
- I 日野市の概要 3
 - 1. 位 置 3
 - 2. 気 候 3
 - 3. 地形・地質 3
 - 4. 社会的な環境——歴史と現況 4
- II 調査方法 6
 - 1. 植生分類の方法 6
 - 2. 野外調査 6
 - 3. 群落の区分 6
 - 4. 現存植生図の作成 6
 - 5. 潜在自然植生図の作成 6
- III 調査結果——植生図凡例の説明 10
 - 1. 現存植生図 10
 - A 森 林 10
 - a. 自然植生 10
 - 1) スダジイ群落 10
 - 2) シラカン群集モミ亜群集 11
 - 3) シラカン群集ケヤキ亜群集 13
 - 4) ケヤキ-シラカン屋敷林 13
 - 5) イヌショウマ-ケヤキ群落 13
 - 6) オニスゲ-ハンノキ群落 17
 - b. 代償植生 17
 - 7) ヤマツツジ-アカマツ群落 17
 - 8) クヌギ-コナラ群集 18
 - 9) セキショウ-アブラチャン群落 21
 - 10) クサギ-ヌルデ群落 22
 - 11) スギ-ヒノキ植林 22
 - 12) モウソウチク-マダケ林 23
 - 13) ハリエンジュ林 24
 - B 河 辺 24
 - 14) サンカクイ群落 24
 - 15) セリクサヨシ群集, ヨシ群落 25

16) ツルヨシ群集	26
17) オギ群集	27
18) カズノコグサ-カワジサ群集, ミゾソバ群集など	28
19) オオブタクサ群落, アレチウリ群落	29
20) ナガバギンギシ-ギンギシ群集など	30
21) マルバヤハズソウ-カワラノギク群集, カワラヨモギ-カワラサイコ 群集など	32
22) オトコヨモギ-トダシバ群落	34
23) イヌコリヤナギ群集	34
C 草原, 耕地など	35
24) アズマネザサ-ススキ群集	35
25) スズメノヤリ-チガヤ群落	37
26) ツユクサ-ヨモギ群落	37
27) ヒメムカシヨモギ-オオアレチノギク群落, ホソアオゲイトウ-シロ ザ群落, カナムグラ-アキノエノコログサ群落	38
28) カラスビシャク-ニシキソウ群集(畑)	40
29) 果樹園	41
30) 桑園	41
31) 苗圃	41
32) タカアザミ-アキノゲン群落	42
33) ミゾソバ-アシボソ群落など	42
34) ウリカワ-コナギ群集, ノミノフスマ-ケキツネノボタン群集など (水田)	42
35) ニワホコリ-カゼクサ群集	46
36) 牧草地, 緑化法面	46
37) 人工芝地	47
D その他	47
38) 樹木の多い公園など	47
39) 緑の多い住宅地	47
40) 緑の少ない市街地, 住宅地	47
41) 工場, 学校, 포장道路など	48
42) 造成裸地	48
43) 自然裸地	49
44) 開放水域(ヤナギモ群落などをふくむ)	49
2. 潜在自然植生	50
IV 環境としての自然	54
1. 植生から見た現状の診断	54
a. 植生自然度	54

b. 自然環境の現状	56
2. 自然環境保全に関する施策の現状	60
V 植生の保護と創造への提言	63
1. 植生の現状に対する問題点	63
2. 緑の創造に対する提言	65
おわりに	68
要約	68
Summary	68
参考文献	69